

第36回 日本感覚統合学会研究大会

The 36th Japanese Academy
of Sensory Integration Congress
in Nara

多様性を科学する
～しかとあゆもう感覚統合～

会 期: 2018年11月3日(祝)～4日(日)

会 場: 奈良県文化会館 (近鉄奈良駅徒歩5分)

大会長: 宮崎義博 (ハートランドしぎさん 子どもと大人の発達センター)

主 催: 日本感覚統合学会

<http://jasi36.umin.jp/>

第36回 日本感覚統合学会研究大会

The 36th Japanese Academy of Sensory Integration Congress in Nara

プログラム抄録集

多様性を科学する ～しかとあゆもう感覚統合～

Development and growth of sensory integration
with scientific evidence to provide individualized support for diverse population

主催 ● 日本感覚統合学会

大会長 ● 宮崎 義博

会期 ● 2018年11月3日(祝)・4日(日)

会場 ● 奈良県文化会館



後援

奈良県

奈良市

奈良県教育委員会

奈良市教育委員会

一般社団法人 日本作業療法士協会

公益社団法人 日本理学療法士協会

一般社団法人 日本言語聴覚士協会

一般社団法人 日本 LD 学会

一般社団法人 日本発達障害ネットワーク

特定非営利活動法人 奈良県自閉症協会

えじそんくらぶ奈良『ポップコーン』

奈良 LD 親の会パンジー

奈良県高機能自閉症児・者の会「アスカ」

一般社団法人 奈良県作業療法士会

公益社団法人 奈良県理学療法士協会

奈良県言語聴覚士会

INDEX

第36回日本感覚統合学会研究大会 大会長挨拶	2
日本感覚統合学会 会長挨拶	3
大会案内	4
会場案内図	5
会場アクセス	6
託児室のご案内	7
レセプションのご案内	7
発表要綱	8
大会スケジュール	10
プログラム	12
抄 録	
特別講演 「脳の意味論」	16
特別企画1 「人と関わることと感覚統合」	18
特別企画2 「読み書きと感覚統合」	20
特別企画3 「成人期の生活・仕事と感覚統合」	22
特別企画4 「遊ぶことと感覚統合」	24
口述発表	28
ポスター発表	36
機器展示・書籍販売	45
感覚統合‘万葉’掲示板	46
次大会案内	46
協賛企業一覧	47
大会実行委員	48

第36回日本感覚統合学会研究大会

大会長挨拶



第36回日本感覚統合学会研究大会

大会長 宮崎 義博 ハートランドしぎさん
子どもと大人の発達センター

この度、第36回日本感覚統合学会研究大会を11月3日(土)、4日(日)に紅葉の奈良で行なうこととなりました。近年、感覚統合理論が多くの分野に広がってきています。その広がりの中で、感覚統合理論を用いる私たちに必要なことは…その人の個性的な感覚統合の働きをさらに豊かなものにしながら、その人が社会の中でどのように『あゆんでいくのか』を追求することではないかと考え、本大会では、様々な企画を立案いたしました。

特別講演『脳の意味論』では脳研究者の池谷裕二先生に脳科学の最新知見をお話いただきます。感覚統合で大切にされる主体性や多様性といった人の行動と、脳の情報処理過程との関連について深く、広く学べるのではないかと考えています。

小松則登先生には、個別セラピーのリーズニングを中心にお話いただきます。個別セラピーは人と関わることの基盤であると私は考えます。人と関わることを支援しておられる方であれば、どのような職種の方でも、小松先生のお話が必ず役立つと考えています。

加藤寿宏先生には、読み書きと感覚統合についてお話いただきます。読み書きと感覚統合との関係や読み書きのプロセスについて学べると考えています。ご講演を機会に、読み書きの難しい方に感覚統合療法がお役に立てることを多くの方に認知していただければと考えています。

岩永竜一郎先生には、成人期の生活・仕事と感覚統合についてお話いただきます。子どもは必ず大人になります。現在、乳幼児期、学童期の支援されている方にも是非ご参加いただきたいと考えています。ご講演を機会に感覚統合の視点が成人期の支援にも広がればと考えています。

太田篤志先生には、あそびと感覚統合についてお話いただきます。現在子どもに関わっておられる方だけでなく、大人が豊かな人生をあゆんでいくために、太田先生の遊びのお話が役立つのではないかと考えています。

本大会では、すべての講演をお聞きいただけるように、プログラムを編成しております。すべての講演をお聞きいただいた後には、あなたの感覚統合に基づく支援の力が、あなたの人生を生きる力が『しかとあゆみはじめる』と自負しております。

講演以外に、感覚統合に関する興味深い演題発表、感覚統合に関する掲示板、業者様によるプレゼンテーションなど、盛りだくさん。有用な情報をたくさん獲得していただけると確信しております。

本大会会場であります奈良県文化会館の徒歩圏内には、世界遺産に登録された東大寺、興福寺、春日大社、奈良公園などの名刹が数多くあります。名刹の『刹』には『心柱』という意味があるそうです。あなたも感覚統合と奈良・万葉の『心柱』に触れてみませんか？

日本感覚統合学会 会長挨拶



日本感覚統合学会
会長 土田 玲子 NPO 法人なごみの杜 代表理事

日本感覚統合学会は、発達障害の理解と支援のために日々尽力していらっしゃる会員の方々と共に、長年、感覚統合理論の啓発や評価法の開発、またこの理論に基づく臨床実践の普及に取り組んできています。

近年、日本における発達障害の理解と支援に関する研究や実践には多くの進歩や変化がみられており、特に DSM の改定に伴って、感覚の問題にも多くの専門家が関心を寄せてくださるようになってきました。感覚統合理論ではこの問題に古くから注目し、科学的研究と臨床症状とを結びつける概念化と支援に取り組んできています。また発達障害がある方々によく見られる不器用の問題も、感覚統合理論の研究と臨床実践のもう一つの大きな柱となっています。

このような問題は、これまで発達障害の研究領域ではあまり注目されていなかったもので、これからの日本における発達障害の理解と支援に、感覚統合理論がますます大きな貢献ができる時代が来ていると感じています。

当学会は30年ほど前に小さな研究会から発足しましたが、現在会員数が1,000人を超えるまでになっています。そこでよりスムーズでグローバルな学会運営のために大きな組織変換が必要となっています。

今回の研究大会では、このような大きな節目を学会員の皆様とぜひ共有できる良い機会になればと考えております。

この研究大会を通して、「私たち一人一人が子どもたちのために何を、どう、すべきなのか」、またそのために「感覚統合理論はどのような役割を担えるのか」、さらにそのために「学会の果たすべき役割は何なのか」を共に考え、集い、楽しみ、各々の活動の方向性や課題を確認する、またとない機会となることを願っております。

大会案内

大会受付

- 開場時間は3日(土) 9:15～、4日(日) 9:00～です。
- 当日は、事前に大会事務局から郵送された参加証とネームホルダーを必ずご持参いただき、会場内での着用をお願いいたします。
- 講師・司会・座長・演者の方は、受付にて各受付をお願いいたします。
詳しくは、p.8発表要綱をご確認ください。

大会参加費

	2日参加(当日受付)	1日参加(当日受付)
会 員	6,000円(7,000円)	4,000円(5,000円)
非 会 員	7,000円(8,000円)	5,000円(6,000円)
当事者・家族・学生	4,000円(5,000円)	3,000円(4,000円)

会場について

- メイン会場は国際ホールです。特別講演、特別企画、口述発表、総会を行います。
- ポスター会場は、第3会議室です。ポスター発表、感覚統合‘万葉’掲示板の掲示を行います。
- 機器展示会場は、小ホールです。
- 書籍販売会場、Made in Nara ブースは、国際ホールロビーです。

クロークについて

- 国際ホールロビー脇に設置しています。
- 利用時間は、11月3日(土) 9:15～17:40 11月4日(日) 9:00～16:00です。
- ご利用は手荷物に限らせて頂きます。貴重品はご遠慮ください。

食事について

- 事前にご予約いただいたお弁当の配布および空き容器の回収は受付(国際ホールロビー)で行います。
- 配布および空き容器の回収時間は、11:30～14:00です。
- 持ち込まれたお弁当等のゴミは各自でお持ち帰りください。
- 会場内の飲食は指定された場所(集会室 A・B・D・E)をご利用ください。
※3日(土)の集会室 A・Bは12:30～の利用になります。
※国際ホールでの飲食はできません。

喫煙所について

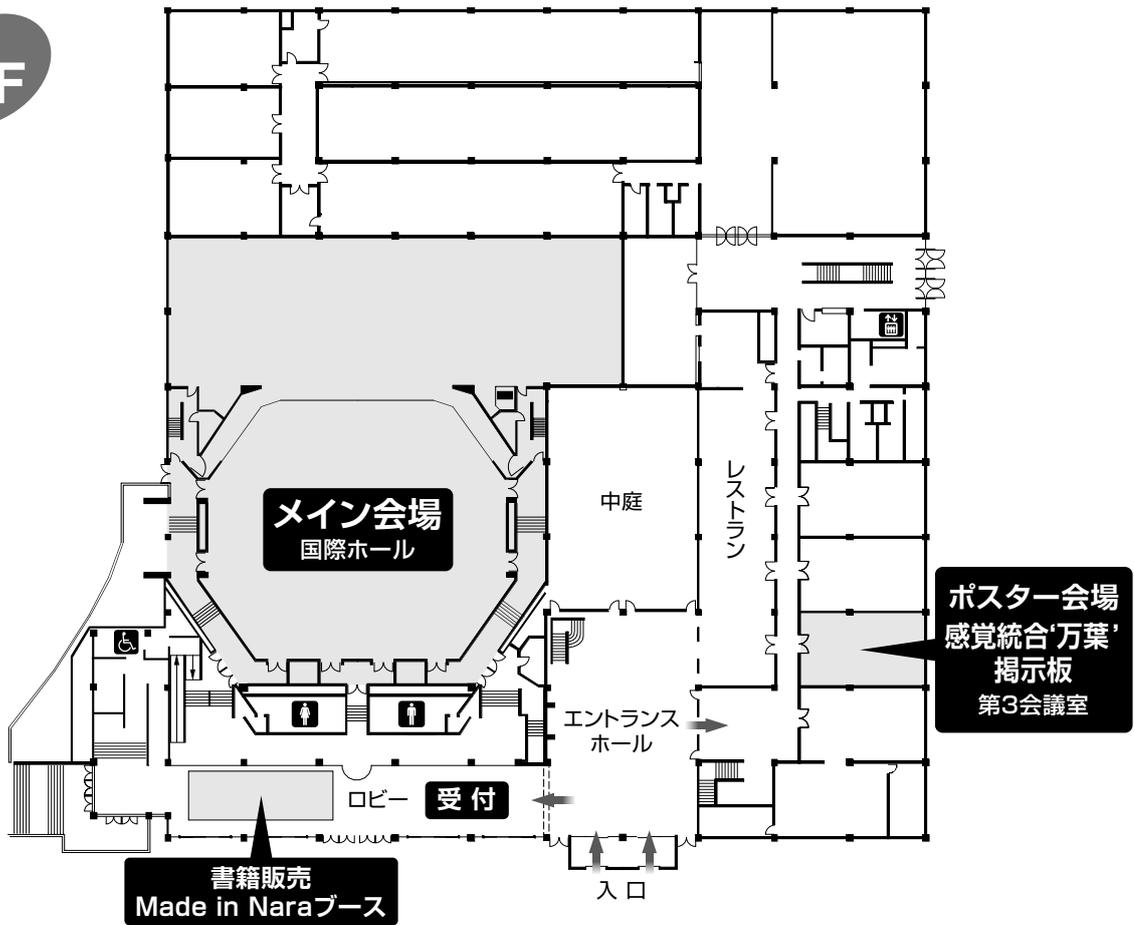
- 大会会場は館内全面禁煙です。喫煙は館外の所定の場所でお願いたします。

日本作業療法士協会会員の方へ

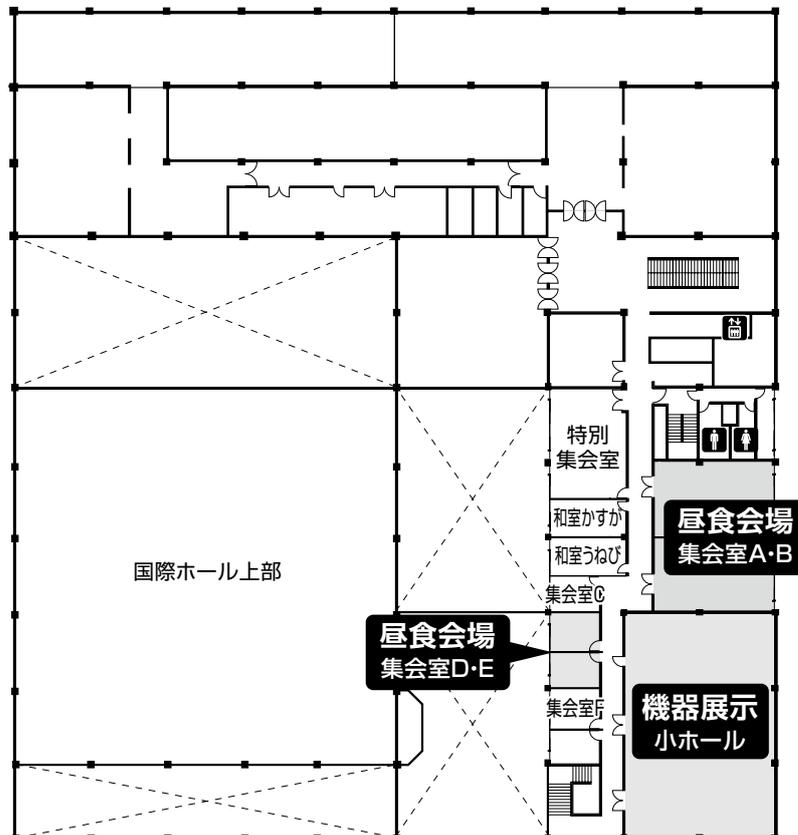
- 本学会は SIG に認定された団体です。所属する各都道府県士会に申請することで、基礎研修ポイントが付与されます。
- 本学会で発表された演者の方は、上記基礎研修ポイントがさらに付与されます。詳しくは各都道府県士会にお問い合わせください。

会場案内図

1F



2F



会場アクセス



鉄道最寄り駅から学会会場(奈良県文化会館)へのご案内

■ 近鉄奈良駅から

東改札口より、1番出口を出てそのまま東へ 徒歩約5分
(奈良県庁の手前、西隣です)

■ JR奈良駅から

東出口バスターミナルから
「奈良交通/2系統/市内循環バス(外まわり)」に乗車し約10分
「県庁前」バス停下車 西へ徒歩約2分

レセプション会場(ホテル日航奈良)までのご案内

- 学会会場からレセプション会場までは、バスで約10分です。
※「県庁前」バス停(西向き3番)から出発するバスはすべてJR奈良駅を經由します。
- 学会会場からレセプション会場までは、徒歩で約25分です。

託児室のご案内

今大会では、子育て中の方にも安心してご参加頂けるよう、(株)UT ケアシステム様のご協力のもと、託児室を設けております。ご利用頂ける方は、事前にお申込み(9月中旬締切)されている方に限ります。当日のお申込みは受付けておりませんので、ご注意ください。

【託児室開所時間】

- 午前午後ともに最初の企画の10分前～最終の企画終了後の10分後を予定しております。
- プログラムの時間が変更になった場合は、託児時間も変更になります。その場合は、連絡させていただきます。

【利用にあたっての注意事項】

- 当日は、大会受付(国際ホールロビー)にて、ご利用料金(1,000円/1日)のお支払いを済ませてから、託児室をご利用ください。
- 昼食時間は、託児室はご利用頂けません。保護者様にお迎えにきて頂き、各自で昼食をとってください。
- 託児利用時間中、お子様に体調不良が生じた場合は、直ぐに保護者様の携帯電話に連絡させていただきます。必ず着信に気が付ける状態で携帯電話をお持ちください。
- 事前にご案内している「当日の持ち物」のお忘れものがございませんようご注意ください。

レセプションのご案内

第36回日本感覚統合学会研究大会 in 奈良
レセプションパーティ



奈良を堪能する
～しかと食べよう奈良の美味～



〈日時〉 2018年11月3日(土)

受付開始 18:30

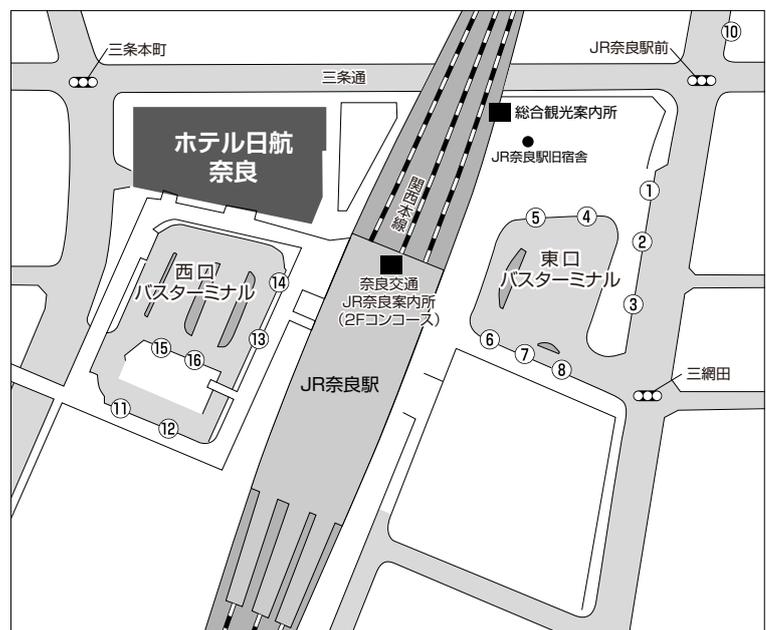
開 宴 19:00

閉 宴 21:00

〈会場〉 ホテル日航奈良
大宴会場 飛天

〈定員〉 約200名を予定

〈会費〉 7,000円
(フリードリンク)



発表要綱

口述発表

演者(口述発表)の皆様へ

1. 口述発表の方法

- 1) 発表は座長の進行のもと行います。
- 2) 発表時間は下記のとおりです。時間厳守をお願いいたします。
研究発表・実践報告 - 発表10分 質疑応答3分
- 3) 抄録原稿は、提出期限以降の修正・差し替えを希望されてもお受けできません。
- 4) 当日は演者受付を必ず行ってください(当日の受付・集合時間を参照)。

2. 口述発表の環境

- 1) 発表は、PC プレゼンテーションとします。
- 2) パソコンは学会側で準備します。個人では持ち込めません。
学会で準備するパソコンは OS : Windows10、ソフト : Microsoft Office PowerPoint2016 を予定しています。
- 3) スライドは必ず Windows 版 Microsoft Office PowerPoint で作成してください。Macintosh は使用できません。
- 4) フォントは Windows に標準装備されているもののみ (MS・MSP 明朝、MS・MSP ゴシック、Times New Roman、Century) 使用が可能です。
- 5) 動画の使用が可能です。動画は Windows Media Player (動画保存形式 WMV のみ可) に限定します。
- 6) スライド枚数に制限はありませんが、発表時間を厳守してください。
- 7) PowerPoint の発表スライドには、必ずファイル名 (発表者名 - 発表演題名) を付けてください。
- 8) 発表用ファイルは必ずウイルスチェックを行なってください。また、保存ファイルが作成された PC 以外の環境でも再生できることを事前にご確認ください。

3. 当日の受付・集合時間等

- 1) 発表当日は、発表セッション20分前までに演者受付にチェックインしてください。
- 2) 発表セッション10分前までには会場指定の席(次演者席)にて待機をしてください。
- 3) 口述発表では会場での資料配布はできません。

4. 発表スライドデータの提出と動作確認について

- 1) スライドデータの提出・動作確認は、国際ホールロビーにて大会日に行いますが、日時の詳細は、各自にメールにて連絡します。
- 2) 万が一の機器トラブルに備え、バックアップとして別の USB もしくは CD-R をお持ちください。

座長(口述発表)の方へ

- 1) 当該セッション15分前までに座長受付にて受付を行ってください。
- 2) 当該セッション10分前までに会場へお越しください。

ポスター発表

演者(ポスター発表)の皆様へ

1. ポスター発表の方法

- 1) 発表は座長の進行のもと行います。
- 2) 発表時間は下記のとおりです。時間厳守をお願いいたします。
研究発表・実践報告－発表10分 質疑応答3分
- 3) 当日は演者受付を必ず行ってください(当日の受付・集合時間を参照)。

2. ポスター掲示の環境

- 1) ポスターサイズは、高さ180cm、幅90cmです。
- 2) ポスター最上部には、演題名と発表者の氏名・所属を掲示してください。
それ以外の部分をご自由にお使いください。
- 3) 掲示に必要な画鋏・テープ等は大会運営側で準備します。
- 4) 文字は2m程離れた位置からでも読める大きさにしてください。
- 5) 配布資料やアンケート等がある場合は各自で準備してください。机等のポスターパネル以外の使用はできません。

3. ポスターの掲示および撤去時間

- 1) 掲示は11月3日(土)9時15分～9時45分に、指定された番号のパネルに掲示してください。
番号及び掲示場所は、当日の受付時にお知らせいたします。
- 2) 撤去は11月4日(日)14時20分～16時に行ってください。
- 3) 撤去時間を過ぎても掲示してあるポスターにつきましては、学会側で撤去処分いたしますので、予めご了承ください。

4. 当日の受付・集合時間

- 1) 発表当日は、発表セッション20分前までに演者受付にチェックインしてください。
- 2) 発表セッション10分前までにはご自分のポスターパネルの前で待機をしてください。

座長(ポスター発表)の方へ

- 1) 当該セッション15分前までに座長受付にて受付を行ってください。
- 2) 当該セッション10分前までに会場へお越しください。

大会スケジュール

1日目 2018年11月3日(土)

	メイン会場 国際ホール	ポスター会場 第3会議室	展示会場 小ホール	ロビー
9:00	9:15～ 受付 場所：ロビー			9:15 ┆ 17:30
10:00	9:45～10:00 開会式 10:00～10:40 口述発表 I	10:00～10:40 ポスター発表 I	9:45～17:30 機器展示	受付・書籍販売・Made in Nara 玩具&遊具の展示
11:00	10:50～12:20 特別企画1 人と関わることと感覚統合 講師：小松 則登氏	10:50～17:30 ポスター掲示・感覚統合「万葉」掲示版	12:30～13:10 機器展示 プレゼンタイム	
12:00	12:20～13:20 昼食			
13:00	13:20～14:50 特別企画2 読み書きと感覚統合 講師：加藤 寿宏氏		機器展示	
14:00	15:00～16:30 特別企画3 成人期の生活・仕事と感覚統合 講師：岩永 竜一郎氏			
15:00	16:40～17:30 総会			
16:00				
17:00				
18:00				
19:00	19:00～21:00 レセプション 会場：ホテル日航奈良			

2日目 2018年11月4日(日)

	メイン会場 国際ホール	ポスター会場 第3会議室	展示会場 小ホール	ロビー
9:00	9:00～ 受付場所：ロビー		9:00～15:00	9:00 ↓ 15:00
10:00	9:30～10:10 口述発表Ⅱ	9:30～10:10 ポスター発表Ⅱ	機 器 展 示	受 付 ・ 書 籍 販 売 ・ M a d e i n N a r a 玩 具 と 遊 具 の 展 示
	10:20～10:50 口述発表Ⅲ	10:20～10:50 ポスター発表Ⅲ		
11:00	11:00～12:30 特別企画4 遊ぶことと感覚統合 講師：太田 篤志氏	11:00～15:00 ポ ス タ ー 掲 示 ・ 感 覚 統 合 「 万 葉 」 掲 示 板		
12:00	12:30～13:30 昼 食		12:40～13:20 機器展示 プレゼンタイム	
13:00	13:30～15:30 特別講演 脳の意味論 講師：池谷 裕二氏		機 器 展 示	
14:00				
15:00	15:30～15:45 閉 会 式			
16:00				

プログラム

特別講演

11月4日(日) 13:30～15:30 メイン会場(国際ホール)

司会：小西 紀一(京都大学医療技術短期大学部 名誉教授・姫路獨協大学 名誉教授・作業療法士)

脳の意味論

池谷 裕二 東京大学大学院 薬学系研究科 教授

特別企画1

11月3日(土) 10:50～12:20 メイン会場(国際ホール)

司会：嶋谷 和之(奈良県総合リハビリテーションセンター・作業療法士)

人と関わることと感覚統合

小松 則登 愛知県心身障害者コロニー中央病院・作業療法士

特別企画2

11月3日(土) 13:20～14:50 メイン会場(国際ホール)

司会：高畑 脩平(白鳳短期大学・作業療法士)

読み書きと感覚統合

加藤 寿宏 京都大学大学院 医学研究科 准教授・作業療法士

特別企画3

11月3日(土) 15:00～16:30 メイン会場(国際ホール)

司会：宮崎 瑠理子(フリーランス・作業療法士)

成人期の生活・仕事と感覚統合

岩永 竜一郎 長崎大学 生命医科学域 教授・作業療法士

特別企画4

11月4日(日) 11:00～12:30 メイン会場(国際ホール)

司会：宮崎 義博(ハートランドしぎさん 子どもと大人の発達センター・作業療法士)

遊ぶことと感覚統合

太田 篤志 株式会社アニマシオン プレイジム・作業療法士

口述発表 プログラム

口述発表Ⅰ [研究]

11月3日(日) 10:00～10:40 メイン会場(国際ホール)

座長：山田 孝(一般社団法人日本人間作業モデル研究所)

- I-1** 発達障害のある児の JPAN スコアの傾向
および主訴による JPAN スコアの傾向について
新庄 真帆 ハートランドしぎさん 子どもと大人の発達センター
- I-2** 発達障害児に対する感覚統合療法の効果指標についての一考察
山西 葉子 県立広島大学 保健福祉学部 作業療法学科
- I-3** 子どもの協調運動の問題を捉えるための検査開発に関する研究
鳴川 拳 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科

口述発表Ⅱ [実践]

11月4日(月) 9:30～10:10 メイン会場(国際ホール)

座長：土田 玲子(NPO 法人なごみの社)

- II-1** 感覚統合療法を通して大嫌いな読み書きに興味を持つようになった事例
宮崎 義博 ハートランドしぎさん 子どもと大人の発達センター
- II-2** 日常生活における活動・参加が広がった感覚調整障害を持つ年長男児への介入
阪本 理香子 社会福祉法人 東大寺福祉事業団 東大寺福祉療育病院
- II-3** 脳性麻痺児に対して感覚統合的アプローチを実施した一症例
—当センターでの実践型研修を通して—
中井 菜摘 地方独立行政法人 奈良県立病院機構 奈良県総合リハビリテーションセンター

口述発表Ⅲ [研究]

11月4日(月) 10:20～10:50 メイン会場(国際ホール)

座長：永井 洋一(新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部)

- III-1** 自閉スペクトラム症者の聴覚処理の問題とそれらへの対処法
～当事者と家族からのアンケートに基づく研究～
野田 遥 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科
- III-2** Sensory Integration Therapy Promotes Adaptive Responses and Participation in
Daily Living: A case series of three geriatric stroke survivors
Hiu-Yan Janette TAM Haven of Hope Christian Service

ポスター発表 プログラム

ポスター発表Ⅰ

11月3日(土) 10:00～10:40 第3会議室

座長：黒瀧 永寿(自治医科大学附属病院)

[実践]

PI-1 自閉症スペクトラム障害1例の感覚調整機能の成長に伴う変化 —JSI-Rの調査から—

佐々木 清子 日本リハビリテーション専門学校

[研究]

PI-2 小児の歯肉炎と口腔内表象との関係

辰巳 光世 医療法人檀の木会 さわやか歯科

[実践]

PI-3 児童養護施設における感覚統合遊びグループ 6年間のまとめ

三浦 香織 東京医療学院大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻

ポスター発表Ⅱ [実践]

11月4日(日) 9:30～10:10 第3会議室

座長：立山 清美(大阪府立大学大学院 総合リハビリテーション学研究所)

PⅡ-1 ファームの感覚統合療育の取り組み ～セラピストが学んだこと～

濱野 哲夫 ファーム

PⅡ-2 就学前集団療育活動における Just Right Challenge

長野 まい 京丹波町 子育て支援課

PⅡ-3 O市における早期発達支援システムの紹介及び「発達教室」利用児の傾向について

日田 勝子 国際医療福祉大学 福岡保健医療学部

ポスター発表Ⅲ [実践]

11月4日(日) 10:20～10:50 第3会議室

座長：古野 優子(北九州市立総合療育センター)

PⅢ-1 個別療育における子どもの変容

エピソード記述による分析

—「これからは手加減無しやな」と思えた瞬間—

田中 涼子 株式会社アニマシオン プレイジム

PⅢ-2 精神科集団作業療法での作業実施を目指した一事例

～感覚や運動を用いた課題への取り組み～

愛木 倫浩 社会医療法人智徳会 未来の風せいわ病院

抄 録

特別講演

特別企画

脳の意味論

池谷 裕二

東京大学大学院 薬学系研究科 教授



脳には気軽に想像しただけでは到達できない深い世界があります。無意識の世界です。脳はその多くの情報処理プロセスを無意識のうちに行っています。脳は全身で感知した情報を用いて、この世界を懸命に理解し、相互作用しようと努めています。その実体とは一体なんですか。当日は最新の脳研究の知見を紹介しながら、脳について私なりの解釈を紹介します。脳は何を目的として存在しているのでしょうか。脳が感じている世界とは一体何でしょうか。地球に生命が存在し、ここまで進化してきた理由はなんですか。宇宙はなぜ人類を生み出したのでしょうか。そんなことを中心にあれこれ考えてみたいと思います。おそらく皆さんの想像とは異なる論点に着地することになるでしょう。キーワードは次の和歌です。

世の中は 夢か現か 現とも 夢とも 知らず ありてなれば

(古今和歌集・巻第十八・詠み人知らず)

抄 録

口 述 発 表

ポスター発表

I-1 発達障害のある児の JPAN スコアの傾向 および主訴による JPAN スコアの傾向について

Assessment of JPAN score in children with neurodevelopment disorders and association with parental needs based on JPAN

○新庄 真帆¹⁾、宮崎 義博¹⁾、加藤 寿宏²⁾、岩坂 英巳¹⁾

1)ハートランドしぎさん 子どもと大人の発達センター、2)京都大学大学院 医学研究科

【はじめに】発達障害児に対し感覚統合療法(以下SIT)を行う妥当性に関する研究は少ない。当センターで発達障害と診断された児の約6割にSIT指示があり、JPANを用い事前評価を実施している。今回、SIT対象児のJPANスコアの傾向と保護者主訴の有無によるJPANスコアの有意差を調査し、発達障害児に対してSITを行う妥当性を検証した。なお本発表は所属の研究倫理委員会の承諾を得ている。

【方法】2016年5月~2018年4月にSIT指示があった5~12歳の知的障害の診断のない発達障害児139名(内ASD65名(LD合併2名含)、ADHD30名(LD合併9名含)、ASD+ADHD35名))に対し、SIT前にJPAN実施。臨床上有用と考えられる16の検査を実施しa)JPANスコアの傾向を調査した。次にKJ法を用いて主訴を11項目に分類しb)主訴の有無によるJPANスコアの有意差をWilcoxonの順位和検定を用い調査した。

【結果】

a) JPAN スコアの傾向(図1): 標準サンプルに比べ対象児のスコアは低かった。特に、姿勢・平衡機能では「クレーンゲーム」「足跡をたどろう」等体幹回旋が必要な項目、「お宝さがし」「ぶたさんの顔誤数」等慎重に取り組む必要のある項目、「ケンパ」「けがして大変」等両側運動協調の項目、模倣と人物画の項目のスコアが低かった。

b) 主訴と JPAN: コミュニケーションの主訴(「状況理解・協調性」「言語化能力」「気持ちの読み取り」「指示理解」の4つに分類)が最も多く、次に「多動・衝動・不注意」の主訴が多かった。「状況理解・協調性」の主訴がある児は「ひこうき1(p=0.01)」が、「言語化能力」の主訴がある児は「ぶたさん秒数(p=0.01)」が、「気持ちの読み取り」の主訴がある児は「けがして大変(p=0.02)」が、「指示理解」の主訴がある児は「ひこうき1(p=0.04)」「手足を伸ばして(p=0.02)」のスコアが主訴のない児に比べ有意に低かった。「多動・衝動・不注意」の

主訴がある児は「フラミング開眼(p=0.02)」「ひこうき2(p=0.02)」「顔まねゲーム(p=0.04)」の結果が主訴のない児に比べ有意に高かった。

【考察】今回対象となったSIT対象児は感覚統合障害、特に両側運動協調、模倣と人物画、目と手の協調運動があり、SITを行う必要性はあったと考える。スコアが低い児の割合が多い項目では、主訴による有意差が出なかったと考える。一方で姿勢・平衡機能、表情模倣のスコアが高い児は「多動・衝動・不注意」が主訴となることが考えられる。

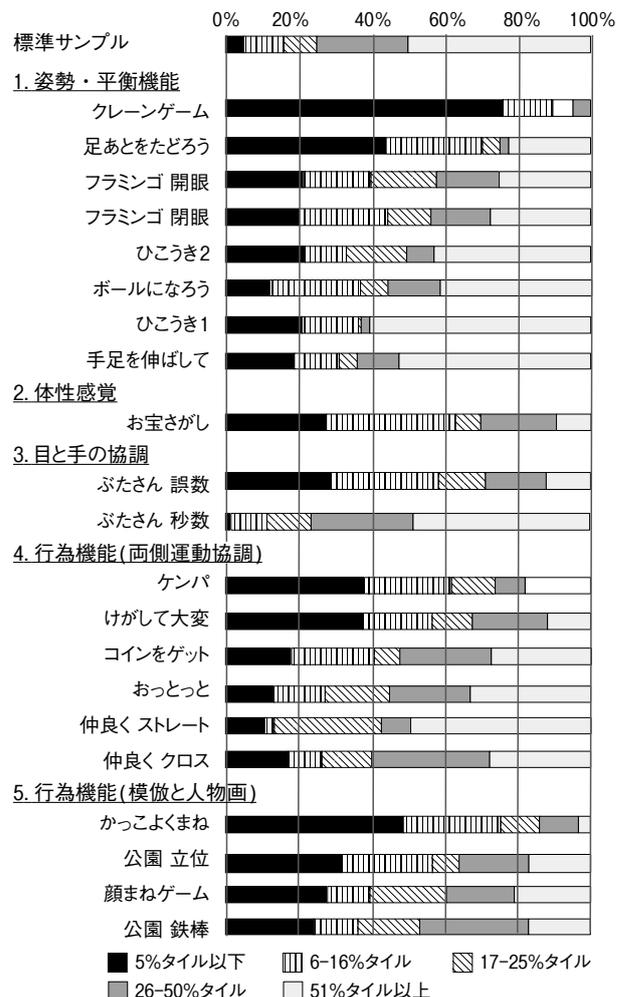


図1 JPAN スコアの傾向

機器展示・書籍販売

〈機器展示：小ホール〉

株式会社アニマシオン プレイジム☆

感覚統合遊びで役立つ療育駄玩具を「100円均一」にて展示即売いたします。

株式会社アネビー☆

組み方無限の平均台やスイング遊具。ヨーロッパの感覚統合遊具で発達支援に貢献します。

有限会社コス・インターナショナル

優れた機能及びカラフルで夢のあるデザインの商品を提供します。

テクノツール株式会社☆

感覚統合や創造力、認知力等の発達を促進する大型ブロックをご紹介します。

パシフィックサプライ株式会社☆

各種器具、スイング等の販売を通じてお客様のQ.O.L. 向上を目指します。

三笠産業株式会社☆

スヌーズレンブラックライトルーム用の蛍光グッズの開発、製造、販売を行っております。

未来航路株式会社☆

感覚統合療法で使用するトランポリン・スウィング等の製造を行っています。

ユニーク エデュケーション プランニング☆

海外のユニークな学習教材や文具の販売を行っています。

ラーゴム・ジャパン株式会社☆

触圧覚で「落ち着く、眠る」を支援するチェンブランケットの輸入元です。

〈Made in 奈良ブース：国際ホールロビー〉

おもちゃのおうち Tuer(てゅーあ)

アナログゲーム、輸入玩具、LaQ、USA、TAG社など取り扱っているお店です。

十津川村産業課(十津川木工家具協議会)☆

村内で産出された無垢の木材により遊具や玩具をオーダーメイドにより製作しています。

〈書籍販売：国際ホールロビー〉

スペース96

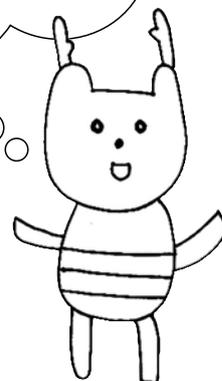
スペース96は障害者関係書籍の専門書店です。

☆機器展示プレゼンタイムに参加されます。

1日目 12:30～13:10

2日目 12:40～13:20

各ブースで実施します！



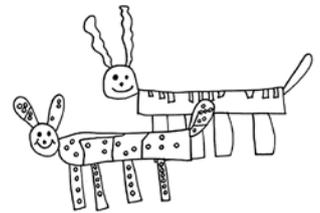
感覚統合‘万葉’掲示板

いろいろな立場の方々から、感覚統合の視点を取り入れた、実践や、日々の工夫、遊びや遊具のアイデアなどの‘万葉’な情報をいただき掲示しています。お気軽にお立ち寄りください。

事前に掲示申込みをされた方のみの掲示です。当日の申込みは承っておりませんのでご了承ください。

☆ こんな掲示板です！ ☆

- ▶ 就労準備プログラム JOBy
- ▶ 私たちの感覚世界と、暮すこと・働くこと・つながること
～成人当事者からのメッセージ～
- ▶ 三郷町における療育教室の紹介
- ▶ 10 Wonderful Toy for Development of Sensory Integration
- ▶ 『特別支援教育の現場に届けたい！ OTの視点&アイデア集』
- ▶ 奈良 感覚統合遊び場マップ
- ▶ おもしろい、勝ちたい、稼ぎたい！ 集団プログラム『SST アミーゴず』
- ▶ 楽器のイロイロ ～音楽療法士の視点から～



(発表内容、タイトルは一部変更となる可能性があります。)

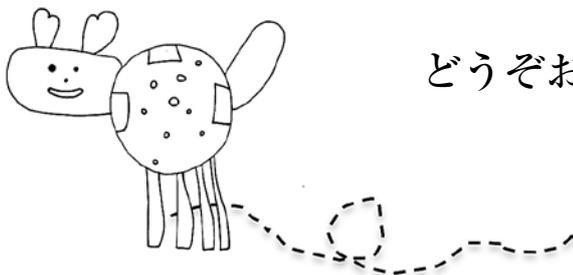
次大会案内

第37回 日本感覚統合学会研究大会

大会長：太田 篤志 株式会社アニマシオン プレイジム

日 程：2019年10月26日(土)、27日(日)

会 場：姫路獨協大学(兵庫県姫路市)



どうぞお越してください！

協賛企業一覧

機器展示・書籍販売業者様

株式会社アニマシオン プレイジム
株式会社アネビー
有限会社コス・インターナショナル
テクノツール株式会社
パシフィックサプライ株式会社
三笠産業株式会社
未来航路株式会社
ユニーク エデュケーション プランニング
ラーゴム・ジャパン株式会社

おもちゃのおうち Tuer(てゅーあ)
十津川村産業課(十津川木工家具協議会)

スペース 96

託児室

株式会社 UT ケアシステム

広告掲載企業様

株式会社アネビー
株式会社協同医書出版社
株式会社日本文化科学社
パシフィックサプライ株式会社
三笠産業株式会社
未来航路株式会社

上記の方々より多大なるご賛同をいただきました。心より感謝申し上げます。

第36回日本感覚統合学会研究大会 大会長 宮崎 義博

第36回日本感覚統合学会研究大会 in 奈良

実行委員

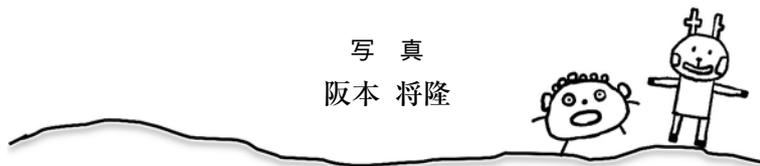
大会長	宮崎 義博	ハートランドしぎさん 子どもと大人の発達センター
実行委員長	嶋谷 和之	奈良県総合リハビリテーションセンター
事務局	宮崎瑠理子	フリーランス
	伊藤 優	ハートランドしぎさん 子どもと大人の発達センター
	新庄 真帆	ハートランドしぎさん 子どもと大人の発達センター
企画係	高畑 脩平	白鳳短期大学
運営係	上田 美	奈良県障害者総合支援センター わかくさ愛育園
	河盛由美子	奈良県総合リハビリテーションセンター
	野田 朋美	奈良県総合リハビリテーションセンター
抄録係	土井 一輝	発達支援リハスタジオ ハッピーリング西ノ京
	阪本理香子	東大寺福祉療育病院
広報係	上西 清吉	株式会社 UT ケアシステム
渉外係	鈴木 典子	訪問看護ハッピーリハビリ & ナースステーション
演題係	佐藤 夏紀	奈良県総合リハビリテーションセンター
レセプション係	宮坂 竜太	奈良県総合リハビリテーションセンター
顧問	加藤 寿宏	京都大学大学院医学研究科

イラスト

仲川 葵 なおと

写真

阪本 将隆



第36回日本感覚統合学会研究大会 in 奈良開催にあたり、多くの方々にご協力いただきました。ここに謹んで御礼申し上げます。

大会実行委員一同

【大会事務局】

ハートランドしぎさん 子どもと大人の発達センター

〒636-0815 奈良県生駒郡三郷町勢野北4丁目13番1号

E-mail : nara.taikai.2018@gmail.com

担当 伊藤 優

【学会事務局】

新潟医療福祉大学医療技術学部 永井研究室内

〒950-3198 新潟市北区島見町1398

FAX : 025-257-4512 E-mail : si-office2007@si-japan.net

事務局長 永井 洋一

第36回日本感覚統合学会研究大会プログラム抄録集

出版：株式会社セカンド／熊本市中央区水前寺4丁目39-11

TEL : 096-382-7793 FAX : 096-386-2025

<https://secand.jp/>



low registration



sensory seeking

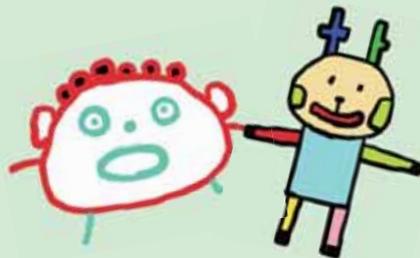


sensitivity



sensory avoiding

Figure . Sensory Processing in NARA



感覚統合奈良大会イメージキャラクター
しかとあゆむだいぶつくん